

2025（令和7）年度

京都大学教育学部  
学士入学  
試験問題

※選択されなかった外国語科目については掲載していません。

2025年度

京都大学教育学部  
学士入学試験問題

外国語

英語

注意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。（※印のところは記入しないこと。）
3. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。（各問1枚とする。）  
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。  
提出する解答用紙は2枚である。  
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に  
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

英 語
-----

- I. 次の文章の下線部 (1) ~ (3) をすべて和訳しなさい。(1) については、冒頭 it does so の内容を具体的に訳に含めること。なお、それぞれ解答の最初に (1) ~ (3) の番号を記入すること。(50点)

**【問題文】**

(問題文略—問題用紙2頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(次頁へ続く)

**【問題文】**

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

**<注意>**

問題文は、Ingold, T. (2018). *Anthropology and/as Education*. Routledge. の33頁32行目～34頁28行目を引用した。

なお、下線部(1)は、33頁39行目～34頁1行目の「It does」から「begin again.」までの2つの文を、下線部(2)は、34頁9行目～34頁12行目の「Once a thing」から「itself set up.」までの文を、下線部(3)は34頁20行目～34頁25行目の「People are not,」から「no-one knows.」までの2つの文を指す。

英 語

- II. 次の文章の下線部 (1) ~ (3) をすべて和訳しなさい。なお、それぞれの解答の最初に (1) ~ (3) の番号を記入すること。(50点)

【問題文】

(問題文略—問題用紙4頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(次頁へ続く)

**【問題文】**

(問題文略一後掲<注意>を参照のこと)

**<注意>**

問題文は、Pearl, J. and Mackenzie, D. (2018). *The Book of Why: The New Science of Cause and Effect*. Basic Books. の2頁3行目~3頁6行目を引用した。

なお、下線部(1)は2頁14行目~18行目の「But before」から「change our lives.」までの2つの文を、下線部(2)は、2頁28行目~33行目の「These questions」から「answer, them.」までの3つの文を、下線部(3)は、3頁1行目~6行目の「The new science」から「the five above.」までの2つの文を指す。

2025年度

京都大学教育学部  
学士入学試験問題

外国語

ドイツ語

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
3. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)  
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。  
提出する解答用紙は2枚である。  
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に  
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

## ドイツ語

I. 以下のドイツ語の文章を、日本語に訳しなさい。(50点)

**【問題文】**

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

**<注意>**

問題文は、Jörg Zirfas (2021) *Pädagogische Anthropologie*, Paderborn: Verlag Ferdinand Schöningh, p. 12, l. 1-12. (12頁1行目—12行目)を引用した。

## ドイツ語

Ⅱ. 以下のドイツ語の文章を、日本語に訳しなさい。(50点)

**【問題文】**

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

**<注意>**

問題文は、Ulrich Beck (1986) *Risikogesellschaft auf dem Weg in eine andere Moderne*,  
Frankfurt am Mein: Suhrkamp, p. 300, l. 1-18. (300頁1行目—18行目)を引用した。

2025年度

京都大学教育学部  
学士入学試験問題

外国語

フランス語

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
3. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)  
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。  
提出する解答用紙は2枚である。  
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆に  
して続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

フランス語
-------

I. 次の仏文を日本語に全訳しなさい。(50点)

**【問題文】**

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Inspection générale de l'administration de l'éducation nationale et de la recherche,  
*Bilan qualitatif des emplois d'avenir professeur: rapport n°2015-024*, 2015, p.1. (1頁1行  
目「Le dispositif」～9行目「de certaines académies.」、27行目「Les étudiants recrutés」  
～34行目「de trois ans.」)を引用した。

## フランス語

II. 次の仏文を日本語に全訳しなさい (50点)

**【問題文】**

(問題文略一後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Delphine Horvilleur, *En tenue d'Ève — Féminin, pudeur et judaïsme*, Grasset & Fasquelle (Coll. Points), Paris, 2013, pp. 175-176.

(175頁8行目「≪C'est」～176頁8行目「autrement.」)を引用した。

2025年度

京都大学教育学部  
学士入学試験問題

一般教育科目

注 意

1. 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
3. 問題Ⅰは現代教育基礎学系、問題Ⅱは教育心理学系、問題Ⅲは関連教育システム論系からの出題である。計3問のうち、入学志願票に記入した第1志望系と第2志望系の問題、計2問を必ず選択すること。志望系の変更は認めない。
4. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)  
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。  
提出する解答用紙は2枚である。  
解答用紙の表だけではなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
5. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

## 一般教育科目

次のⅠ～Ⅲの3問のうち、入学志願票に記入した第一志望系と第二志望系の問題、計2問を選択して解答しなさい。

(100点 (50点×2問) )

〈現代教育基礎学系〉

- Ⅰ. 科学技術の発展によって生命や環境を容易に操作することが可能となった現代において、(1) 人間であるとはどういうことか、(2) 人類はどうあるべきか、(3) (1) と (2) を踏まえて教育はどのような役割を果たしうるか。3点すべてについて論じなさい。

〈教育心理学系〉

- Ⅱ. 「抑制」はどう定義され、どのように研究されてきたか。実験心理学、臨床心理学の各々の観点から回答しなさい。

〈関連教育システム論系〉

- Ⅲ. 終身雇用や新卒一括採用の改廃などに見られる労働社会の変化に対する、学校教育もしくは社会教育の現状と課題について、具体的な例を挙げて論じなさい。